

機能	MylogStar 3	MylogStar 2.5	機能概要	
Agent 取得ログ	コンピューターログ	○	コンピューターの電源ON・OFF (パワーオン, パワーオフ, サスペンド突入, サスペンド復帰) を記録。	
	ユーザーログ	○	ログインユーザー名、ログイン時間、ログオフ時間、使用時間、アクティブ時間等を記録。	
	スクリーンショットログ	○	一定間隔 (60秒~8時間)、PrintScreeキー押下時、HTTP POST発行時等、任意の条件でスクリーンショットを記録。	
	アプリケーションログ	○	プロダクト名、バージョン、起動時刻、使用時間に加えアクティブ時間、アプリケーション名を記録。	
	ファイルログ	○	ファイル操作時の新規作成、削除、名前変更、保存、読み込み、ファイルコピー等を記録。	
	プリンターログ	○	ドキュメント名、ファイルパス、プリンタ名、印刷時刻、印刷枚数等を記録。	
	ウィンドウログ	○	アクティブなウィンドウのウィンドウタイトルを記録。アクティブ時間も記録。	
	クリップボードログ	○	文字列コピー時のクリップボードの内容 (ファイルパス、テキスト情報) を記録。	
	Webログ	○	URL、ページタイトル、アクセス時刻、アクション (GET, POST) を記録。https対応。	
	Eメールログ	○	件名、メール送受信アドレス、送受信時刻、メールのコピー (本文、添付ファイル) 等を記録。	
	FTPログ	○	相手先アドレス、相手先ポート、FTPコマンド、コマンドデータなどを記録。	
	TCPセッションログ	○	任意のポートを指定し、TCPセッションが確立した通信について送信元および送信先IPアドレス、ポート番号を記録。	
	イベントログ	○	Windowsイベントログを記録。イベント種別、種類、イベントID等でフィルタリング (取得・破棄) 可能。	
	Webメール	○	Gmail / Google Apps 対応。	
	メッセンジャー	○	対象サービスは未定。	
インベントリーログ	○	端末情報 (インベントリー情報) の記録。		
ドキュメント	○	廃止 ※ファイルログがドキュメントログのすべての項目を内包		
Agent 機能	アプリケーション起動制御	○	指定したアプリケーションの起動を禁止する。起動試行時に警告も可能。	
	システム日付制御	○	ローカルPCのシステム日付の変更を禁止する。日付変更の検知。	
	メッセージ機能	○	ローカルPCログイン時、禁止アプリ実行時、一定時間経過時に任意のメッセージをポップアップ。	
	ログ回収ツール	○	スタンドアロンPCのログデータをリムーバブルメディアで回収。	
	デバイス制御機能	○	CD/DVD、FDDの書き込みや使用を禁止する。	
	アクセス制御機能	○	任意のUSBストレージに対して書き込みや使用を禁止する。	
	アクセス制御一時解除機能	○	禁止しているUSBストレージを一時的に利用許可する。	
	モバイル時のPC監視	○	LANに接続されていなくても操作ログを収集し続け、各種制御を行う。	
	プログラムガード	○	ローカルPCに管理者権限を持っていても機能停止やAgentアンインストールから保護。	
	操作ログファイルアクセス制御	○	ローカルPCに管理者権限を持っていても操作ログファイルを削除・改竄できないようアクセス制御。	
	Agent側コマンド実行	○※1	Agent側でフィルタリング条件に一致した場合に、そのポリシーに記述されている任意のプログラムを実行。	
	暗号化通信取得機能	○	指定したアプリケーションのhttps, pop3s, smtpsなどSSL/TLS通信を操作ログとして記録。ブラウザログイン不要。	
暗号化通信除外ドメインリスト	○	指定したドメインとの https通信を操作ログ記録から除外。		
Console 機能	アラートビュー	○	アラートの発生状況をConsoleダッシュボードに表示。(日別・月別・前週同曜日比較・当月発生比率)	
	サーバーディスク状況	○	MylogStar Serverのハードディスク空き領域・データベース利用量をConsoleダッシュボードに表示。	
	ログ送信・登録状況	○	Agentからの未送信ログ量やServerの未登録ログ量をConsoleダッシュボードに表示。	
	システムステータス	○	ステータスログの簡易版をConsoleダッシュボードに表示。	
	検索	○	簡易検索に加え、複雑な検索が可能。	
	トレース	○	指定したファイルログを起点として、該当ファイルのコピーや名前変更の経緯を追跡。	
	アラート	○	蓄積したログを任意のスケジュールで検索し、アラートタグを付与、アラートビューに表示。	
	リアルタイムアラート	○※1	操作ログが発生したタイミングで指定条件とマッチングを行い、該当するログに対してアラートタグを付与。	
	レポート	○	検索条件に該当したログを元に任意のレポートをpdfで出力。(通常・件数・合計・集計項目・集計単位など)	
	ログの串刺し表示	○	すべてのログを時系列順に表示。	
CSV出力 (手動出力 / 自動出力)	○	指定したログを手動でCSV出力。すべてのログを自動でCSV出力。		
Console 管理	管理ユーザー設定	○	Consoleにログインできる管理ユーザーを登録。	
	管理ユーザーのロール設定	○	管理ユーザーごとの権限をロールにより設定。	
	管理ユーザーのセキュリティ設定	○	管理ユーザーのパスワード有効期限、ロック試行回数指定、ロック持続時間、複雑なパスワード要求。	
	グループ管理	○	ログ取得したユーザーやコンピュータをグループ化して管理。(旧機能: 部門管理)	
	グループ情報のインポート/エクスポート	○	MylogStarのグループ情報をCSV形式でエクスポート。CSVからMylogStarのグループにインポート可能。	
	ポリシー設定	○	ログ取得有無等をMylogStar Serverから一元管理。(旧機能: 監視設定情報)	
	ポリシーで取得ログをフィルタリング	○	取得不要ログの除外やフィルタ連動スクリーンショット設定が可能 (アプリケーション、ファイル、ウィンドウ、Web、Eメール、TCPセッション、イベント、FTP)	
	ポリシーのインポート/エクスポート	○	作成したポリシーをインポート/エクスポート可能。	
	検索条件登録	○	任意に作成した検索条件を登録しておき、ワンタッチで呼び出すことが可能。	
	検索条件のインポート/エクスポート	○	任意に作成した検索条件をインポート/エクスポート可能。	
	アラートタグ設定	○	アラートタグを自由に作成可能。	
	アラートジョブ	○	指定した検索条件に合致するログレコードにアラートタグを付与。(旧機能: アラーム機能)	
	バックアップ機能	○	データベースのバックアップを行う。バックアップ時圧縮も可能。(差分バックアップ可能)	
	アーカイブ機能	○	データベースから任意の期間のログを切り出し別ファイルとして退避、長期保管、DB肥大化防止可能。(旧機能: ログローテーション)	
	データベースメンテナンス	○※1	インデックスの断片化を自動的に解消、インデックスの再構成、インデックスの無効化、データベースの圧縮、統計情報の更新が可能。	
	LDAP連携	○	Active DirectoryのOU構造・ユーザー、コンピュータをMylogStarのグループにインポート。	
	LDAP連携ジョブ	○	予め作成したLDAP連携定義をスケジュールで実行。	
	ジョブリスト管理	○	アラート / バックアップ / アーカイブ / LDAP連携ジョブを管理、ジョブ結果を管理ユーザーへメール送信。	
	ジョブのコマンド実行	○	アラート / バックアップ / アーカイブ / LDAP連携ジョブをコマンドライン実行。結果をWindowsイベントログに出力。	
	ステータスログ	○	MylogStarシステム内で発生したイベントやエラー、警告を記録・表示。	
Consoleログ	○	Consoleの使用状況を記録・表示。		
ライセンス管理	○	保有しているMylogStarライセンスの管理。		
USBストレージメンテナンス	○	アクセス制御機能で指定するUSBストレージの管理。		
アーカイブログ管理	○	アーカイブとして退避したログの閲覧および管理。		
その他	Agent自動アップデート	○	監視端末をネットワーク経由でアップデート。(ネットワークアップデート)	
	ローカルアップデーター	○	Agentを手動でアップデート。	
	リモートインストール対応	○	Agentをmsiパッケージ形式で配布。	
	Agent管理	○	Agentステータス (コンピューター名、IPアドレス、プロダクト、バージョン、未送信ログ数、未送信ログサイズなど)	
	緊急時監視機能停止	○※1	緊急時に管理者がAgentの機能を停止。	
	未インストール端末把握	○※1	ディレクトリ情報やADを元に未インストール端末を把握。	
	Server管理	○※1	サーバーステータス等、状況一覧。	
	再フィルタリング機能	○※1	取得したログを再フィルタリングする機能。	
	暗号化通信	○	各サブパッケージ間の通信を256bit相当の強度で暗号化。	
	操作ログファイル暗号化	○	操作ログを256bit相当の強度で暗号化。	
	ポリシー暗号化	○	ポリシーを256bit相当の強度で暗号化。	
	クラスタリング対応	○※1	Server (Relay Server) のクラスタ構成対応。	
	ユーザー認証情報	○※1	ICカードなどの認証情報を付加情報としてDBに登録。	
	旧バージョンログビューワー	○	任意のMLS 2.5 DBのログを閲覧。	
	仮想環境接続情報取得	○	仮想環境においてエンドポイントデバイスの情報を取得。	
	終了時ログ転送	○	VDIシンプロビジョニング環境において操作ログ保全を担保。	
	強制操作ログ回収	○	管理者が任意のタイミングで、Agentにキャッシュされた操作ログをServerに強制的に回収。	
	Server Monitor Manager	○	廃止 ※ Agent管理機能に集約	
環境・構成	データベース	MS SQL Server 2008 / 2008 R2 /	MS SQL Server 2005 ~ 2012	注: SQL Server 2005 および 各Express Edition は対象外。
	多言語対応	○※1	○	日本語以外のOSで動作。
	Server OS対応	○	○	Windows Serverの操作ログを取得。Server-VDI対応。
	メールサーバー対応	○	○	Notesメール、Exchangeメール等を取得。(旧称: Mail-Server Option)
	SBC対応	○※2	○	XenApp、WinRDS、RemoteApp、Ericom等のSBC環境で操作ログを取得。
	VDI対応	○※2	○	vmware view、XenDesktop、Ericom等のVDI環境で操作ログを取得 シンプロビジョニング対応。
	ログの一元管理	1~30,000台	5~10,000台	MylogStar 1システムで管理可能なPC台数。(ユーザー数)
	MylogStar Relay Serverの対応	○	○	3,000台以上の一括管理やログ収集の中継/分散を実行。(旧称: MylogStar Hub Server)

※1 次回以降のバージョンにて対応予定。

※2 対応製品の詳細は別途一覧表をご確認ください。

注) 全ての内容は2014/7/25 (MylogStar 3 Release3) 現在のものです。

注) 全ての内容は予告なく変更される場合があります。